

わたし流、
 やんかしまの暮らし。

「子どもと一緒に田舎暮らし」

山岡さん ご家族



高島に来て、畑にもチャレンジ!

たかしまへ移住（I・J・Uターン）された方に、インタビュー!

令和5年3月に京都から高島に引っ越してきました。

もともと田舎暮らしに憧れていたことと、子どもの小学校進学をきっかけに思い切って移住に踏み切りました。

実際、家探しをスタートさせたのは令和4年9月でしたが、2軒目にして現在の家と運命の出会いを果たしました。

それ以降は話がトントン拍子で進み、地域の人たちにも恵まれ、すでにどっぷり「たかしま暮らし」にハマっています。

今後はお米作りや発酵食品作りにもチャレンジして、高島での暮らしを一層楽しみたいと思います。

安全安心

交通事故発生状況

問 高島警察署 ☎ (22)0110
 (令和5年5月末現在)

内容	件数	前年比
人身事故発生件数	23件	- 8件
死者数	1人	- 4人
傷者数	25人	- 16人

発生場所	件数
マキノ	2件
今津	5件
朽木	0件
安曇川	9件
高島	3件
新旭	4件

※概数

火災・救急・救助件数

問 通信指令課 ☎ (22)1234
 (令和5年5月末現在)

火災	件数	累計(1月~)
建物	0件	2件
車両	0件	1件
林野	0件	0件
その他	0件	1件

救急	件数	累計(1月~)
交通事故	14件	50件
一般負傷	42件	186件
急病	169件	851件
その他	24件	121件

救助	件数	累計(1月~)
火災	0件	0件
交通事故	1件	6件
水難事故	0件	4件
その他	0件	6件

環境放射線測定結果

問 原子力防災対策室 ☎ (25)8133

5月平均値(平日測定)	前月平均値
マキノ(マキノ支所前駐車場) 0.048 μ Sv/h	0.051 μ Sv/h
今津(今津支所車庫付近) 0.037 μ Sv/h	0.041 μ Sv/h
朽木(朽木支所前駐車場) 0.059 μ Sv/h	0.062 μ Sv/h
安曇川(安曇川支所南側駐車場) 0.054 μ Sv/h	0.065 μ Sv/h
高島(高島支所東駐車場) 0.060 μ Sv/h	0.065 μ Sv/h
新旭(高島市役所本館北側駐車場付近) 0.040 μ Sv/h	0.043 μ Sv/h

※測定地点は他に24か所あります。測定結果は、市のホームページをご覧ください。
 ※日本での自然放射線による時間線量の通常の値はおおむね0.2 μ Sv/h以下です。

たばこを吸う生活習慣を
 見直してみませんか?

たばこはさまざまな病気の引き金となりますが、血管へのダメージが大きいことをご存じでしょうか。たばこは生活習慣病のリスクを高め、重症化させることにつながります。

脳血管疾患や虚血性心疾患のリスクが高くなる

たばこは血管を収縮させて、血圧をあげます。そのため、血管がもろく弱くなり、脳血管疾患(脳梗塞、脳出血等)や虚血性心疾患(心筋梗塞、狭心症等)を引き起こす要因となります。



糖尿病の合併症のリスクが高くなる

たばこは血行を悪くします。糖尿病の人は高血糖によって血管が傷んでいるため、たばこを吸うとさらに血行不良を起こします。そのため、足の末梢神経障害、網膜症による視力障害や腎症による人工透析等の合併症を引き起こす要因となります。

禁煙で血管へのダメージを防ぐことができます!

たばこをやめると呼吸器の病気のほか、生活習慣病も予防でき、ご自身や大切な方の健康を守ることにつながります。



禁煙を考えてみませんか?

関心のある方は、市のホームページ「チャレンジ!禁煙生活!」をご覧ください。



禁煙したいけれど、迷っているあなたへ

物価高騰の現状を乗り越える

昨今の日本経済は、コロナ禍から社会経済活動の正常化が進む中で、国内経済の回復や外国人観光客の増加による期待感が追い風となり、今年1月の時点で2万5千円台であった日経平均株価も、僅か半年足らずで3万3千円台にまで上昇し、約33年ぶりとなるバブル崩壊後の最高値を更新したところです。

このような株高の要因はさまざまですが、日本の金融施策における緩和方針の継続で円安が進行し、海外の投資家による日本株の買い増しや、日本企業の業績改善に対する期待の高まりなどが主な要因ではないかと考えられています。

一方、衣食住の多くを海外からの輸入に依存している日本では、円安に伴う輸入コストの上昇で食品などの原材料価格が値上げされ、また、ロシアによるウクライナへの軍事侵略の先行きが未だに見通せない状況にある中で、世界有数のエネルギー

輸出大国であるロシアに対する国際的な経済制裁によって、国際エネルギー市場の需給が逼迫し、日本でもエネルギー価格の高騰が長引いています。

こうした諸物価の高騰による厳しい状況を乗り越えるために、本市では今年の夏以降、特に家計への負担が大きい世帯に対する支援金の給付や、これまで中学生までを対象としていた医療費の無料化を高校生にまで拡大することで市民生活の負担軽減を図るほか、厳しい経営環境に置かれている市内の中小企業を対象に、事業活動の継続と雇用の安定化に資するための支援金を給付していきます。

市では、これからも国内外の経済情勢を注視しながら、多くのご家庭で実感しておられる経済的な不安を少しでも緩和できるように、関係団体との連携を図りながら必要な支援策を実施していきます。

福井 正明

市長雑記

